

令和4年度 第3回 JSSR 国際委員会審議事項

日時：令和4年11月14日（月）20:00-20:34

場所：Zoom

出席：(担当理事) 伊東学

(委員長) 酒井大輔

(委員) 北村和也, 菅野晴夫, 加藤壯, 玉井孝司, 重松英樹, 宮城正行

(アドバイザー) 松山幸弘, 波呂浩孝 (理事長)

欠席：名越慈人, 高橋真治, 高畑雅彦, 安藤圭, 宮崎正志, 中村雅也(敬称略)

## 1. 審議事項

1) 韓国 KSSS よりトラベリングフェロー（5名）の推薦依頼について

2019年にAsia Travelling Fellow (ATF)に選出されたまま COVID の影響で参加できていない先生（10名）がおられるので、その中から5名の枠を回す方針。

学会参加が主目的で2-3泊の渡航であり、施設見学を含めるかどうかについては打診中である。

どなたに参加していただくかについては、まず各先生のご意向を確認して、何らかの抽選を考える。

上記の方針について委員から承認を得た。

## 2) ATF 再開状況

高橋真治先生が訪問先各施設の受け入れ可能状況などを確認していただく予定。

2019年の先生方について、各自でアレンジしていただく方針になっているが、今後のATF募集再開に向けてタイミングの調整が必要になる。

COVID の状況を確認して調整が必要な可能性がある。

韓国 KSSS に5名、台湾 TWSS（3月）に数名、トラベリングフェローの受け入れについて個別に相談をしている状況。2019年選出のATFフェローが割り当てられれば良い。

2023年のJSSRに合わせてKSSS、TWSSからも受け入れを検討。

これまで TWSS は春の学会の優秀演題受賞者 4 名を秋に受け入れをしてきたが、今後は JSSR に合わせて春に来て頂き、双方向性を高めていきたい。波呂先生に来年 3 月の TWSS に参加していただくので、そこで協議を進める。

### 3) APSS Board Member 交代について

松本守雄先生、酒井先生が board member として任期満了である。松山先生が昨年まで board member、その後川口先生に交代している。松本先生、酒井先生に代わって波呂先生、高橋真治先生に 2 年間（2 期となれば 4 年間）お願いをさせて頂きたい。

リサーチなども含めて日本のプレゼンスを高めていきたい。

### 4) JSSR 2023 国際委員会関連行事の状況

種市先生と協議し、演者候補の先生にはオーストラリアの Brian Hsu 先生以外は受諾をいただいた。2 人 1 組で教育研修講演をしていただく。

EPA も 30 演題以上集まっている。過去の ATF、国際委員会で採点などを担当。国際委員会と演者で懇親会を予定している。（種市先生から連絡がある予定）

### 5) Spine 20 状況報告

2022 年 8 月 4-5 日に玉井先生、伊東先生で参加。ESJ に recommendation を発表した。次回は 2023 年 8 月 10-11 日にインドの予定で ASSI 学会が中心となる。新たなグループの参加について伊東先生が担当して下さっている。

### 6) SpineWeek 2023 状況報告

JSSR として半日の参加予定。35 演題の投稿あり。査読を委員に依頼している。極力採択をするが、他国からの投稿については個別に相談。他学会とのコンバインドだが可能な限り JSSR で登録、参加を。フライトは早めに予約した方が良い。

以上